

## 札幌で行われるオリンピック競技

【サッカー】 会場:札幌ドーム	7月21日(水) 女子 16:30 イギリスーチリ 19:30 日本ーカナダ
	7月22日(木) 男子 16:30 エジプトースペイン 19:30 アルゼンチンーオーストラリア
	7月24日(土) 女子 16:30 チリーーカナダ 19:30 日本ーイギリス
	7月25日(日) 男子 16:30 エジプトーアルゼンチン 19:30 オーストラリアースペイン
	7月28日(水) 男子 17:30 ルーマニアーニュージーランド 20:30 南アフリカーメキシコ
【競歩】 コース:札幌・駅前通り	8月5日(木) 16:30~18:05 男子20km
	8月6日(金) 5:30~10:00 男子50km 16:30~18:15 女子20km
【マラソン】コース:札幌・大通公園発着	8月7日(土) 7:00~10:15 女子 8月8日(日) 7:00~9:45 男子

# オリンピックボランティアの現場からみえるものは?

安全、活動の意味を考えたい——東海大講師 植田俊さん

東海大学国際文化学部(札幌キャンパス)講師の植田俊(うえた・しゅん)さん=スポーツ社会学=は、学生160人とともに、札幌で行われる東京2020オリンピックのマラソン・競歩競技に、ボランティアとして参加します。コロナ禍での開催という特殊な条件下でのスポーツボランティアに携わる意味を聞きました。



学生とともにマラソン・競歩競技のボランティアに参加する東海大講師の植田俊さん

日本中で開催についての意見や批判が渦巻いています。無観客なのか、観客を入れるかの議論が長く続けられたように、感染状況が日々変化しているなかで、運営準備もかつてないほどの難しい問題と向き合っています。6月末の段階では、マラソン・競歩はまだ組織委員会から、観客や感染防止の具体策が地元を示されていません。

私たちは授業の一環での参加ですから、本来は学生に事前学習をして実地体験、それについてのレポートをしてもらい成績評価というステップを踏みます。しかし、いまでは具体的な活動場所、内容がまだ示されていないので、事前の学習ができない状態です。

全国では8万人応募した五輪ボランティアのうち1万人が辞退しました。私たちは五輪という大きな機会に向き合うのは意義があると考えていますが、それでも感染状況、対面の安全度などを確認して参加します。

その場合、感染対策が計画通りしっかりと取られているか、もし密状態が出たときには自分たちがどう対応したらよいかなどをチェックしながらの活動になります。

声を出さないようにする、観客との距離の取り方など、平常時のマラソンボランティアとは異なる動きも考えなければなりません。そうした条件のなかで学生や一般のボランティアがどう行動して、何を感じたかを聞き取っていきます。

オリンピックとボランティアにかかわるもう一つの視

点は、オリンピックという大きなイベントが地域にどう影響を与えるのか、生活者にどう影響を与えるのかです。

1964年の東京オリンピックは「豊かさの発信」という大義名分がありました。今回のオリンピックでは「福島復興」「コロナに打ち勝つ」などがいわれていましたが、国民の心にはストンと落ちていない。だからオリンピック待望論は大きくならず、中止や反対の声も目立つようになっています。

コロナ禍の発生する前の募集時に「やりがい搾取」「ただ働き」など、労働問題としてとらえたボランティアに対する批判がでました。応募者が定員を超えたことで批判のトーンは下がったのですが、大会を控えて辞退者が多く出た。コロナ感染の恐れが主な理由でしょうが、その他にもオリンピックの意義づけ、ボランティアをする意味が確立していなかったためではと思っています。

ロンドンオリンピックでボランティアと呼ばずに「ゲームズメーカー」という名前をつけて、スポーツイベントに不可欠の存在という意味を強く打ち出しました。東京2020もこの路線を踏襲して「フィールドキャスト」「シティーキャスト」と名付けましたが、まだ便利なお手伝いというニュアンスも感じられます。

主催する側がスポーツボランティアの必要性をしっかりと説明し、ボランティアの側は自分のやりがいを感じたい、あるいは職場や地域の一体感を持ちたいなど、納得できる活動の意味を持って参加することが大切です。

困難な状況で取り組むボランティア活動から何を学ぶのか、今後のために問題提起しなければいけないことは何か。学生と一緒にぜひ考えていきたいと思っています。

※ ※

植田さんはオリンピックボランティアの体験をもとに10月、東海大学のオンライン公開講座「オリンピックを通じてみた、コロナ禍でのスポーツボランティア活動」を開講する予定です。申し込み、問い合わせは、東海大学ウチムラカンゾウカレッジ札幌オフィス(〒005-8601 札幌市南区南沢5条1丁目1ノ1) ☎011-571-5111 Eメール s-koukaikouza@tsc.u-tokai.ac.jpへ